

**Q15 災害時に自力で避難できない方から、「市が作成している避難計画にあなたを『手助けをしてくれる方』として計画に記載したい」と相談があった場合、どうするか。
(※計画に法的な拘束力はありません。) 「その他」の回答**

- 家族に手助けの必要な高齢者がいるので手伝いできるかはわからない。
- 自分と家族で精一杯です
- そのときに余裕があれば協力するが計画に記載したいと言われると責任が持てない
- 自分の周りにも気をつけないといけない人がいる
- 子どもがおり、自身も指定難病の為、難しい
- とてもデリケートな問題なので、選ぶことはできない。
- 現実には自分自身がどのような状況になっているのか分からないが多分声を掛け合うと思う
- 去年の10月に足を骨折して、リハビリ中なので、痛みもありともに歩けない
- 幼児以下の子どもの複数名おり自立していないため、子どもが成長した際には家庭外のことにも手が回らと思う
- 自分も、足腰が悪いので、逆に迷惑かけてしまいますかも。
- まだ、子どもたちが小学生なので、余裕がない。
- 小さい子供がいるのでどうなるか。
- 止めて！相談すら受けたくない、断ったとき感情論に対しての責任を市は取れない！
- 自分の子どもが肢体不自由児なので、逆に避難の時に手助けしてほしい
- 我が子を見てくれる人がいれば助けに行く。
- 自分や家族の安全を確保後、手助けする気持ちはあるが、記載することで責任が問われるようなら躊躇がある
- 子どもが多いので、被災状況により手一杯の可能性もあるが、子どもが学校等の場合は身一つなので補助も可能
- 助けるとは思いますが、近所とのつながりが無いのと、動物を飼っているので自分の避難状況による
- 身内が手助け必要な支援者なので、むりです
- 上3こ全てに該当します
- 家族が避難行動支援者なので手助けが必要
- 東日本震災時には津波の救助者災害が多くありました、避難共助から津波災害は削除すべきと考えます。
- ない
- 現在認知症の母を介護しています、他人のことまでてがまわりません。
- 子供の避難もあるのでそちら優先になってしまうので難しいと思います。
- その時にしないと分からない

Q16 ことし1月に発生した「令和6年能登半島地震」を受けて、実際に取り組んだこと、または取り組もうと思うことはあるか。「その他」の回答

- 地震の歴史や地震学者のレポートなどをネットで調べて読んだ。
- 何かしないかと思いつきながらできていない
- 瓦の屋根が破損した際のブルーシートなどの確保方法
- 車に乗せるための、ライフジャケットを購入した
- Instagramで防災についてのアカウントを検索して情報収集、真似して物資を購入した。
- 心配だが何もできないまま時間が過ぎている
- 耐震を調べたい
- わからない
- 引っ越し
- 自宅の耐震について調べようとしているが、お金がないのでまだしていない
- まだ何もできていない
- 取り組みしたいがどのようにしたらいいか分からない
- 敷地内にシェルターとなるものを準備することを考えている。
- これから考えたい